

皇帝新聞

【発行】

〇〇中学校

2年

●●●●

秦・始皇帝の誤算

皇帝政治が原因？

中国四千年の歴史の中で、最初の乱世となった春秋戦国時代が約550年続いた。戦国時代に覇権を争ったのは、戦国の七雄といわれる韓・魏・趙・楚・斉・燕・秦の7つの大国であった。最終的な勝者となったのが秦だった。始皇帝が紀元前221年に中華統一を成しとげ、自らを皇帝と称して建国した秦は、わずか15年で滅ろんでしまう。始皇帝の誤算とは？

政治のリスクをすべて背負うことに

このような体制の下では、皇帝は当然、人民の生活と全国の政治に対して全責任を負う立場となる。人民の生活が安定し国が安泰していれば賛美されるが、政治が乱れ人民の生活が苦しくなると皇帝への不平不満が集まってくるのである。

皇帝独裁の中央集権制

始皇帝は、皇帝独裁中央システムをつくり上げて全国で実施した。全国の土地と人民はすべて皇

陳勝呉広の乱

紀元前209年、中国史上初の農民反乱が起きた。河南省出身の陳勝と呉広は、政府の命令で9

皇帝政治こそ災いの始まり

となつた。

不老不死の薬探せ！

本来、秦の始皇帝が創建した中央集権制において皇帝の権力は絶大であり、全国の官僚組織と軍隊をその手足として駆使できるほど強固なものとなつていく。しかし、皇帝の権力が強固で絶対的だからこそ皇帝は人民を苦しめるような暴政を行うことができた。その結果、暴政に苦しむ人民の反乱が起き、中国史上最も短命な王朝の一つとして滅んでしまった。こうして見ると、皇帝政治の確立は、まさに秦王朝にわたつての災いの始まりだったのである。

秦時代の万里の長城



歴史的にも規模的にも圧倒的な万里の長城の歴史は、春秋時代から始まる。全国を統一し始皇帝は戦国の七雄がすでに建造していた長城をすべて繋げた。北方モンゴルからの攻撃を防ぐために始皇帝が修築した万里の長城は、現在残る明の万里の長城に比べると

城壁の高さは低いもので騎乗したまま乗り越えられない程度の高さだった。司馬遷が書いた中国の歴史書『史記』の「蒙恬伝」には、長城建設に30万人以上が動

の「キングダム2」運かなる大地へ」は前作を越える迫力だった。第二作目は主人公

圧巻の大作！キングダム2

「蛇甘平信の初陣が描かれている。アクションが多く手に汗握るワクワクする展開が続く。合戦シーンも



はとく、弥生時代というからびっくりだ。

中国最初の皇帝である始皇帝が、永遠の命に執着していたことは有名な話である。中国で2002年に見つかった木簡の中に、秦の始皇帝が国内各地で不死の薬を探すよう命じた布告や、それに対する地方政府からの返答が含まれていたことが明らかになった。「不老不死の薬」を探せとの命令した布告は、辺境の地域やへき村にも通達されていたという。また、この指示に困惑した様子が見える地方政府から

ここがまさか、徐福上陸の地？

紀伊半島の南東岸、熊野信仰で知られる和歌山県新宮市に不思議な墓が



和歌山県新宮市 徐福公園

ある。紀元前、不老不死の仙薬を求めて中国から徐福（じよふく）なる男がたどり着いたという。徐福は神仙の術を駆使する方士。ときは中国・秦の世、日本でいえば弥生時代。始皇帝の命を受け徐福は3千人の童男童女を連れて船出した。東の海に浮かぶという仙境を目指した彼が上陸した地こそ、ここ新宮だったというのだけれど・・・